

令和4年度 学校関係者評価書

鈴鹿市立石薬師小学校

NO. 2

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校関係者評価	今後の改善点
人権教育・特別支援教育	<p>1 人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童理解のレポート研修, 全体研修会 人権教育の推進, 全校児童の人権意識の向上 → アンケートで検証 <p>2 多様性を認め合う教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の研修, 特別支援学級・通級指導教室公開 多文化共生教育 → 多文化共生の授業 <p>(成果と課題)</p> <p>1 学校全体で人権教育に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート研修で情報共有をし共通認識をもって指導できた。人権集会で人権を大切にすることを全校で共有した。 <p>2 多様性を認め合う研修や取組を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の研修を深め, 特別支援学級の理解授業を行った。 多文化共生への取組は全学年で学年に応じて行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い人権教育が進められた。 多文化共生の取組も各学年に合った教育が進められた。他国の子も入学や転校してくるので多文化交流はとても大切で必要である。 人権教育, 多様性の教育など難しい問題が上手く子どもたちにとけこんでいるように思う。 一部で暴言・暴力・偏見があるということなので, <u>その場その時に対応をしてもらうことが大切ではないか。</u> 校内の掲示物を見ても人権の意識付けができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画の中に多文化共生教育のカリキュラムを入れておく。 問題行動に対しては, その場その場で気づいた教員が対応するとともに, 日常生活の中で指導していく。関わり方を工夫して対応していく。
生活指導	<p>1 基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あすなる☆」を通年指導 (あいさつ, スリッパ, なかよく, 廊下歩行, チャイムを守る) 児童会中心であいさつ運動→アンケート <p>2 いじめの未然防止, 不登校の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感の推移 → アンケートで検証 → いじめアンケート スクールカウンセラーを活用した児童支援 <p>(成果と課題)</p> <p>1 各学級で「あすなる☆」について指導をし, 児童会が積極的にあいさつ運動を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ノーメディアデーの取組を昨年より積極的に行った <p>2 いじめや不登校の未然防止, 初期対応を全教職員で行った</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感アンケート, いじめアンケートの実施ときめ細かな対応 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会を中心に積極的に挨拶運動をしているのはとても良いことで, 積極的に元気に挨拶ができる子が非常に多いと思う。 進んで挨拶をする子, 声をかけたらする子と様々である。 青パト巡回時にも児童からの挨拶をよく受けて, 気持ちが良い。 読み聞かせ前に図書館へ来て「今日ではよろしくお願ひします。」と挨拶してくれる子がいる。 数年前に校門に立った時に比べて挨拶のレベルが落ちた。 全体的に整理整頓ができていた。スリッパも揃っている。 ノーメディアデーに対する働きかけをもっとした方がよい。 いじめアンケートをとることで, 状況を把握しよう意識することは大切。すぐ対応してもらえることは保護者も安心できる。 自己肯定感をもっと高めるように今後もアンケートを通して子どもの思いをくみとってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶については, 児童会が挨拶運動を繰り返し, 啓発していく。大人もきちんと挨拶する。 ノーメディアデーは今後も学期に1回取り組んでいきたい。子どもたちにも働きかけをしながら, スクリーンタイムの推移を見ていきたい。 自己肯定感についてな, アンケート以外にも, 気になった子に声をかけることを日常的に取り組んでいく。
健康・安全・体力向上	<p>1 体力向上・体を動かす取組 → 体力テスト, スポーツ出前授業の活用</p> <p>2 交通安全教育・防災防犯教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室, 避難訓練, 引き渡し訓練, 防犯教室, モバイル教室 → 保護者と連携, 事故件数で検証 <p>3 食育・アレルギー対応 → 食育授業回数 → アレルギー研修</p> <p>(成果と課題)</p> <p>1 体力テストで課題を把握し, 体力向上に取り組んだ。</p> <p>2 交通安全教室, 避難訓練, 引き渡し訓練, 防災教室を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育, 防犯指導は各学級で行った。 地域の人と連携しながら2学期より通学路の青パト巡回を毎週1回実施している。 <p>3 栄養教諭と連携した食育を各学級2回ずつ実施し, アレルギーの研修会は全教職員参加で行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナの中での運動不足は心配している。体を使って遊ぶことが少なくなってきているので, 体育の時間等で, 運動する楽しさを味わわせてほしい。 「スポーツ出前授業」で外部の方の協力でいろいろなスポーツが経験ができるのは良い。 マラソン大会の復活は難しいか。 防犯については, どこで何が起こってもおかしくないという意識をもたせ, 指導を行ってほしい。 2年生の子が自転車の危険運転をしていた。学校は機会あるごとに保護者に啓発していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育委員会で「アスレチックランド」という遊びの時間を設定して, 運動する機会を持たせたので, 継続していきたい。体育倉庫にある一輪車やフーフープを使用して運動する機会を増やしたい。 マラソン大会については行事の精選のため復活はしない。授業で持久走に取り組んでいる。 教員が不審者対応訓練を行い, 学校全体で防犯に取り組む。 自転車の危険運転については, 日常的に学校で周知していくとともに, 保護者にも啓発をしていく。
教職員の働き方	<p>1 会議の時間短縮 PC利用促進 → 60分以内に終了する会議の割合</p> <p>2 時間外労働時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> 定時退校日の設定 スクールサポートスタッフの有効活用 → 時間外労働時間 <p>3 休暇取得日数 → 一人あたりの休暇取得日数平均</p> <p>(成果と課題)</p> <p>1 会議は60分以内に終了する意識がついてきた。割合2/3程度</p> <p>2 月2回は100%近く定時退校できるようになってきた。時間外労働時間は少しずつ減ってはきている。</p> <p>3 今年度は夏季と冬季に休暇取得ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 改善はされているものの不十分であり, 達成可能な目標を設定し, 目標に向かって努力してほしい。 働き方改革は進んでいるようであるが, まだまだ仕事の整理の余地はあるのではないかと。 先生方の負担が少しでも減るように今後も取組を継続してもらいたい。 休暇取得ができる環境, 働きやすい職場が教職をめざす人が増えることにつながると思うので改善をしていってほしい。 教職員の仕事は人の将来の方向性をつけていく大切な仕事なのに, 仕事の大変さが無視されている。教職員の人権を主張しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 2部会 → 企画委員会 → 職員会議と, 提案のための議論を効率的にし, PC利用促進で会議の時間短縮につなげていきたい。 時間外労働時間の減少や休暇取得については, 一人ひとりの意識を改革するとともに, 定時退校日の設定や互いの声掛けをしていきたい。

|